



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2011. 5月号

新しくなって帰ってきた

プラネタリウム、再開



5月21日(土) 新投影機で一般公開開始

座席設置が完了し、投影機搬入を待つプラネタリウム室(4月11日)

石綿除去作業実施のために遅れていたプラネタリウム室の改修、投影機の更新が、急ピッチで進んでいます。スクリーンパネルの新装、新しい座席の設置が完了し、まもなく新しい投影機がやってきます。新投影機(PANDORA -五藤光学研究所製)は、コンパクトなサイズで、よりリアルな星空を映写します。また、高解像度ビデオプロジェクター2台が、ドームスクリーン全体に鮮烈な宇宙の姿を描写します。

一般投影再開は5月21日(土)に決まりました。当日は午前11時より幼児向け番組「すいせいゴエモンのぼうけん」、午後2時、午後3時30分より「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH(帰還バージョン・ディレクターズカット版)」を放映します。ご期待下さい。

■ 6月3日までの投影時間と内容

	土曜日	日曜日	水木金曜日
午前 11:00	すいせいゴエモンのぼうけん	HAYABUSA	
午後 2:00	HAYABUSA	HAYABUSA	
午後 3:30 (臨時)	HAYABUSA	HAYABUSA	HAYABUSA (星座解説はありません)

■観覧料 一人200円(18才未満・65才以上無料)
※電力事情等の状況によっては投影できない場合があります。

星空解説にもニューフェイス

塚田健 学芸員

皆さま、はじめまして。この四月から天文の学芸員として平塚市博物館で働くことになりました塚田健と申します。生まれ育ちは神奈川県川崎市です。三月までは兵庫県姫路市にある天文台で、大型望遠鏡で来館された方に星をお見せする仕事をしていました。これからはプラネタリウムが主ということで勝手が異なりますが、皆さんが星空を見上げ、宇宙の不思議について考えるきっかけを提供できればと思います。まだまだ未熟ではありますが、よろしくお願ひします。



トピックス

平塚にもあった東日本大震災による被害

■ 1000年に一度の低頻度大規模地震

2011年3月11日14時46分に、三陸沖の深さ約24kmで発生した巨大地震は、地震そのものによる被害のほか、津波、火災、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染や大規模停電など、未曾有の大災害をもたらし、東日本太平洋沿岸のみならず、日本全国に大打撃を与えました。亡くなられた方々、被災された方々には、お悔やみ・お見舞いを申し上げますと共に、速やかな復興を願っています。

気象庁では、この地震を平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震と命名しました。日本政府ではこの災害を東日本大震災と呼んでいます。この地震はマグニチュード9.0で、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(気象庁発表)の海溝型地震でした。このマグニチュード9.0という地震規模は、国内観測史上で最大のものでした。従来、東北日本の日本海溝沿いでは数十年~百数十年に一度程度、M7~8.5程度のプレート境界地震が起きていましたが、今回の地震は、歴史上珍しい、1000年に一度程度か、それ以上の間隔の低頻度大規模地震が起きたのです。平安時代の貞観11年(869年)の貞観三陸地震での津波被害との類似性が指摘されています。



総合公園日本庭園内の石塔の倒壊

■ 平塚での被害

今回の地震は神奈川から280kmも遠く離れたところで発生した遠地地震で、長くゆらゆらと揺れる長周期地震となりました。その結果、地盤が緩い埋め立て地などで液状化による噴砂、地盤沈下、ブロッ



岡崎の谷戸田を埋めた上ノ入東公園に見られる路面とフェンス基礎の段差

ク塀の倒壊などの被害が生まれました。千葉県浦安市の埋め立て地での液状化は甚だしいものでした。平塚市周辺でもブロック塀の倒壊、電柱の傾き、道路などでの亀裂、用水路の損傷、地盤沈下、配管の抜け上がりなどが起きています。見附町・桃浜町・諏訪町などでは地形的には砂州上に位置するところで、古いブロック塀が倒壊しました。総合公園の日本庭園では石塔が南北方向に倒壊しました。出縄では台地の縁の水田を埋め立てたマンションで液状化が起これ、配管が抜け上がり地盤沈下しました。旭小学校・山城中学校・勝原小学校では校舎の一部が損傷しました。岡崎の谷戸田を埋めた用水路沿いでは、南北性の亀裂や塀の倒壊、玄関床面の損傷などが起こりました。秦野市鶴巻のおおね公園周辺では数多くの亀裂が見られ、南北性の伸張応力で形成されたと考えられます。これら被害を被った場所は軟弱地盤が厚い箇所、水分に富んだ軟弱な泥層からできている地域です。東海沖地震も叫ばれている今、フィリピン海プレートの挙動にも注目しながら、自分たちの住む地盤を再度見直していただけたらと思います。

博物館では平塚周辺の地盤図(300円にて頒布中)を発行しています。自分の住む土地がどういう地形に分類されるのかをみれば、表層の地盤が軟弱かどうかを判定できます。今回の地震による平塚市域の被害はこのほかにもかなり起きていることと思います。平塚市域での被害情報をご存じの方は、是非博物館まで、情報をお寄せください。(森 慎一)

民俗部門では、平成22年度に28件200点余りの資料を受け入れました。この中から主な資料として地曳網、デーケー（ダイカイ）、和菓子製造用具などを展示しています。地曳網は千石河岸の松本重雄氏の寄贈によるもので、櫓、竿、大漁旗など地曳船の関連用具も展示します。

デーケーは中に赤飯を入れ祝儀不祝儀の贈答に用いる容器で、平塚周辺地域に特有の民具です。新たに北金目中久保地区と片岡の大澤迪之家から寄贈された2点はどちらも特徴があります。中久保地区のデーケーには、大正12年に新調されたことと使用者12名の連名が墨書されています。従来館蔵資料では旧家1軒の姓名が墨書された例がほとんどでしたが、この資料は地域でデーケーを共有していたことの証しとなります。大澤家のデーケーは明治42年に求められたもので、形が一般的なお椀型ではなく、重箱型なのが特徴です。

平成22年秋に閉店した横内の和菓子店“春月堂”から打菓子の木型など多数の和菓子製造道具が寄贈されました。“春月堂”は明治2年創業の老舗で、太平洋戦争中に海軍火薬廠へ納める煎餅を焼いた道具なども資料に含まれています。そのほか、歴史部門では従軍看護婦の制服などを展示します。



ヨウカンに模様や文字をすりこむ型紙

新刊 NEWS

◆◇『平塚市史10』通史編近代・現代のお知らせ◇◆

約5年の歳月を経て、『平塚市史』の13冊目の配本として、第10巻通史編近代・現代（監修：金原左門）を発行しました。大きさはA5判で、1,277ページの大部です。

この通史編近代・現代の特徴として、第1編を近代、第2編を現代に分けて編集してあります。

第1編近代では、幕末から明治期の市域の行政の変遷、海軍火薬廠の進出と関東大震災、市制の施行、戦時下の様相と空襲など、本市の特徴的な歴史について紹介しています。

第2編現代では、太平洋戦争後の本市の戦災復興状況や諸改革、昭和の町村合併、高度成長期における都市化、歴代市長の事績についてなど、現在の発展につながる軌跡をできる限り網羅しました。皆さまの学習や研究の一助としてご活用いただければ幸いです。

なお、販売価格は6,000円となります。販売場所は平塚市博物館市史編さん担当（平塚市中央図書館1階西側）または博物館1階受付案内の2か所です。また、郵送を希望の方は、住所・氏名・電話番号・市史名（書名）を記入し、書籍代金と送料（590円・切手可）を添えて現金書留で、平塚市博物館市史編さん担当（郵便番号254-0041平塚市浅間町12番41号）へお願いいたします。



◆◇平塚市博物館研究報告『自然と文化』34号を刊行◇◆

下記の論文を掲載しています。ご希望の方は博物館受付でお求めください(価格800円)

湘南コケの会 「高麗山（神奈川県中郡大磯町）のコケ植物」

鷹 宏道・澤村泰彦 「2010年の太陽黒点」

島本千也 「平塚の別荘地時代」

市原 誠 「米軍のコロネット作戦に対する第53軍の本土防衛—大磯地区の本土決戦準備態勢—」

早田旅人 「明治初期の神職をめぐる裁判とその特質—相州六所神社の神主職をめぐる裁判と神祇官・神奈川県—」

5月

2月	休館日		
6日	金	古文書講読会	講堂
7日	土	◎ こどもフェスタ 2011	全館
		お囃子研究会	講堂
		天体観望会「土星の観望」	科学教室・屋上
8日	日	◎ 星を見る会「太陽黒点を見よう」	科学教室・屋上
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
9日	月	休館日	
10日	火	平塚地質調査会	工作室
12日	木	石仏を調べる会	土屋
13日	金	古文書講読会	講堂
14日	土	古代生活実験室	科学教室
		星まつりを調べる会「高森道了尊」	野外・伊勢原市
15日	日	◎ ろばたばなし	相模の家
16日	月	休館日	
18日	水	裏打ちの会	科学教室
		民俗探訪会	藤沢市
19日	木	平塚地質調査会	野外
		展示解説ボランティアの会	特別研究室
20日	金	古文書講読会	講堂
21日	土	☆ プラネタリウム「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH」(～7/10)	プラネタリウム
		☆ プラネタリウム幼児向け投影「すいせいゴエモンのぼうけん」公開(～7/9)	プラネタリウム
		◎ 自然教室「里山休耕田の生きもの調べ1」	土屋
		相模川の生い立ちを探る会	野外：三浦
		地域史研究ゼミ	特別研究室
22日	日	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		水辺の薬校生きもの調べの会	野外
23日	月	休館日	
26日	木	石仏を調べる会	特別研究室
27日	金	古文書講読会	講堂
28日	土	平塚の遺跡を歩く「中原御殿と寺田縄屋敷」	市内
29日	日	◎ 自然教室「里山休耕田の生きもの調べ2」	土屋
30日	月	休館日	
31日	火	休館日	

寄贈品コーナー「新着資料展(人文)」4月1日～5月22日
 プラネタリウム休演「すいせいゴエモンのぼうけん」5月21日～7月10日
 「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH」5月21日～7月10日

6月

2日	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	燻蒸休館 6月6日～6月17日
3日	金	古文書講読会	講堂	
4日	土	お囃子研究会	講堂	
5日	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂	
6日	月		燻蒸休館	
7日	火		燻蒸休館	
8日	水	平塚地質調査会	工作室	
			燻蒸休館	
9日	木		燻蒸休館	
10日	金		燻蒸休館	
11日	土		燻蒸休館	
		星まつりを調べる会「子の神社」	湯河原町	
12日	日		燻蒸休館	
13日	月		燻蒸休館	
14日	火		燻蒸休館	
15日	水		燻蒸休館	
		民俗探訪会	藤沢市	
16日	木		燻蒸休館	
		展示解説ボランティアの会	館外	
17日	金	平塚地質調査会	野外	
			燻蒸休館	
18日	土	相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
		地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
19日	日	平塚学講座「開講講義」	講堂	
		◎ 水辺の薬校生きもの調べの会	野外	
		◎ ろばたばなし	相模の家	
		◎ 平塚の遺跡を歩く「岡崎城と城所城」	野外	
20日	月	平塚学講座「身近な植物に親しもう」	野外	
			休館日	
23日	木	石仏を調べる会	特別研究室	
24日	金	古文書講読会	講堂	
		古代生活実験室	野外	
25日	土	天体観望会「学習会」	科学教室・屋上	
		◎ アンダーグラウンド☆砂浜の生きものを調べよう	虹ヶ浜	
27日	月		休館日	

☆: 展示・方検加 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示とプラネタリウム

- ☆春期特別展「深海から生まれた湘南」
会期: 5月22日(日)まで
場所: 特別展示室
- ◎特別展展示解説と深海相模湾映像上演
日時: 5月15日(日) 午後1時～3時
場所: 博物館特別研究室・講堂
参加: 自由
- ☆寄贈品コーナー「新着資料展-人文部門-」
内容: 歴史・民俗部門の新資料を紹介します。
会期: 6月5日(日)まで
場所: 1階寄贈品コーナー
- ☆プラネタリウム番組「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH」
内容: 困難を越えて地球帰還をめざす小惑星探査機はやぶさのストーリー。
投影日・投影時間・観覧料: 1面をご覧ください。
- ☆プラネタリウム幼児向け投影「すいせいゴエモンのぼうけん」
内容: オールトの雲から太陽をめざし彗星に成長するゴエモンの旅。
幼稚園団体等にご覧いただいている番組の一般公開。
投影日・投影時間・観覧料: 1面をご覧ください。

行事参加者募集

- <申込制の行事>
- 自然教室「里山休耕田の生きもの調べ1 クモ」
内容: 休耕田のクモを観察します。
場所: 土屋地区

- 日時: 5月21日(土) 午後1時～午後3時
定員: 15人(多数の場合抽選・小学生は保護者同伴)
申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、5月12日(木)までに申し込む。
- 自然教室「里山休耕田の生きもの調べ2 昆虫」
内容: 休耕田の昆虫を観察します。
場所: 土屋地区
日時: 5月29日(日) 午後1時～午後3時
定員: 15人(多数の場合抽選・小学生は保護者同伴)
申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、5月19日(木)までに申し込む。
- 平塚の遺跡を歩く「中原御殿と寺田縄屋敷」
内容: 中原地区から寺田縄地区まで遺跡や地形をみながら歩きます。
日時: 5月28日(土) 午前10時～午後3時
定員: 15人(多数の場合抽選)
申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、5月20日(金)までに申し込む。
- 平塚学講座
※詳細はパンフレットをご覧ください。
<自由参加の行事>
- ◎国際博物館の日記念行事「こどもフェスタ2011」
※詳細はパンフレットをご覧ください。
- ◎ろばたばなし
内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。
日時: 5月15日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時
場所: 展示室1階「相模の家」

あなたと博物館 39巻2号 通算413号 発行 平塚市博物館 2200
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 E-Mail. info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/